

くりっぷ

平成28年11月1日発行
広島県教育委員会

Vol.62



「くりっぷ」とは、「学校、家庭、地域をつなぐ」をテーマに、広島県教育委員会や学校での取組を、保護者の皆さんにお知らせするための広報紙です。3月、7月、11月の年3回発行しています。

11月1日はひろしま教育の日

全県で一斉に学校を開放。
地域の学校を訪れてみよう!

11/1~11/7

学校へ行こう週間

「学校へ行こう」週間では、保護者や地域の人々に今の学校教育を見てもらえるよう、全県的に学校を開放しています。ぜひこの機会に学校を訪れ、子供たちの学ぶ姿を見てください。



11月1日はひろしま教育の日

学校へ行こう週間 (11月1日~7日)



平成28年度「ひろしま教育の日」メッセージ・ポスター原画
メッセージ最優秀作品 県立吉田高等学校 2年 玉川 七海さん
ポスター原画最優秀作品 県立熊野高等学校 2年 井手元咲良さん

「ひろしま教育の日」フォーラム 広島版「学びの変革」に触れよう!

日時 平成28年10月22日(土) 9:45~16:10(予定) 場所 三次市民ホール きりり (三次市三次町111-1)

平成30年度の広島版「学びの変革」アクション・プランの全県展開に向けたフォーラムです。なぜ今「学びの変革」なのか、これからの学びはどう変わっていくのかを、広く皆さんに知っていただく機会です。ぜひご参加ください。

★広島版「学びの変革」実践事例発表



尾道市立土堂小学校

尾道の空き家問題の解決に向け、児童が地域の空き家を調査。地域の人たちと自ら情報収集したことを基に主体的に対話し、解決策を提案・実行しています。この学習を通して、空き家に対する児童の価値観が変わり、尾道市民としてのアイデンティティが育まれています。



県立御調高等学校

御調の5つの宝に焦点を当て、各教科・科目の学習で得た知識・技能などを活用して地域の課題を探究する体験的・実践的な学習活動を行っています。生徒は地域での実践やその振り返りを通して、物事を多面的に考える力や他者と協力する態度を身につけています。

★高校生パネルディスカッション

県立三次高等学校



県内国公立の高校生が、他国の高校生などと協働して、地域の課題と魅力を本気で考え、自ら行動する「広島創生イノベーションスクール」に参加。その一環として、都市部と山間部を繋ぐイベント「トナカイフェス」の企画・運営に携わることで、問題解決能力やグローバルな視点を身につけています。

県立日彰館高等学校



「田舎主義」に基づいた教育活動を展開しています。広島大学短期交換留学生との交流を中心としたグローバルプログラムと、地域活性化プロジェクト学習などのローカルプログラムを両輪として、逆境をテコにマイナスをプラスに切り返して課題解決を図ることのできる力とチャレンジ精神を養っています。

プログラム

9:00~ 9:45 開場・受付	★11:25~12:25 高校生パネルディスカッション
◆9:45~10:00 アトラクション①	◆13:00~13:50 アトラクション②③
10:05~10:30 開会行事	◆14:00~15:30 講演
★10:35~10:50 「学びの変革」概要説明 (広島県教育委員会教育部長 諸藤孝則)	◆15:35~15:50 PTA 事例発表
★10:50~11:20 「学びの変革」実践事例発表	15:55~16:10 閉会行事

併催 ◆広島県高等学校PTA連合会広島県大会

- (1) アトラクション
 - ① 県立庄原格致高等学校 邦楽部
 - ② 県立三次高等学校 応援(ダンス)部
 - ③ 県立吉田高等学校 神楽部
- (2) 講演
 - 演題/「オール1の落ちこぼれ、教師になる」~創造する力で未来はひらける~
 - 講師/宮本 延春氏(エッセイスト、元高校教師、作家)
- (3) PTA 事例発表
 - 県立油木高等学校 PTA

県立庄原実業高等学校



農業分野のプロフェッショナルを目指し、主体的に学ぶ姿勢などを身につけます。そして、学校独自の設定科目「地域農業探究」での「フィールドリサーチ」を通して、地域の伝統文化や産業にふれることにより、郷土を愛し、地域や産業(農業)の発展に貢献しようとする意欲と実践力を身につけています。

県立御調高等学校



道の駅「クロスロードみつぎ」や福祉施設などの関係機関と連携。毎月第3日曜日に道の駅で「ありがとうデー」を実施したり、耕作放棄地の活用として地域の新たな特産品青パパイヤを栽培・商品開発したりするなどの取組を通して、自己肯定感を持ち、様々なことに挑戦する意志を育んでいます。